

令和3年度 教育の内部質保証自己点検・評価結果概要

内部質保証最高責任者 坂井 貴文
(令和4年度第1回内部質保証委員会了承(令和4年8月4日))

改正 令和5年7月13日

1. 国立大学法人埼玉大学における教育の内部質保証に関する規則別表2に掲げる評価事項

「自己評価」とは内部質保証責任者による自己点検・評価結果で、「点検結果」とは内部質保証実施責任者による「自己評価」の点検結果である。

「○」基準を満たしている。

「△」基準を満たしているが、改善を要する事項が認められる。

「×」基準を満たしていない。改善を要する。

学生の受入れに関する自己点検・評価

評価事項	評価基準	分析項目	評価実施主体	内部質保証責任者	自己評価	点検結果	改善事項の概要	改善結果	改善結果の概要
1-1 教育課程の入学定員充足状況	実入学者が、入学定員に対して適切な人数となっているか。	5-3-1	教育機構 アドミッションセンター	理事 (教学・学生担当)	○	○			
【優れた成果】									

学生支援に関する自己点検・評価

評価事項	評価基準	分析項目	評価実施主体	内部質保証責任者	自己評価	点検結果	改善事項の概要	改善結果	改善結果の概要
2-1 学年暦	授業期間が原則として35週にわたるものとなっているか。	6-4-1	教育機構 教育企画室	理事 (教学・学生担当)	○	△	●本評価事項は、教育課程及び学修成果に関する自己点検・評価に移動することが望ましい。	○	○国立大学法人埼玉大学における教育の内部質保証に関する規則別表2を改正した。 (R5.10.27)
2-2 卒業率及び修了率	標準修業年限内の卒業(修了)率が適切な水準を保っているか。(過去5年分)	6-8-1	教育機構 教育企画室	理事 (教学・学生担当)	○	△	●本評価事項は、教育課程及び学修成果に関する自己点検・評価に移動することが望ましい。	○	"
							●学生が自主的に取得した資格について、大学が把握する仕組みの構築を検討することが望ましい。		
2-3 学生生活に関するアンケート	学生生活支援への満足度が適切な水準を保っているか。	2-3-3	教育機構 キャリアセンター 学生生活支援室 保健センター	理事 (教学・学生担当)	○	○			
【優れた成果】									

教育課程及び学修成果に関する自己点検・評価

評価事項	評価基準	分析項目	評価実施主体	内部質保証責任者	自己評価	点検結果	改善事項の概要	改善結果	改善結果の概要
3-1 シラバス入力状況	全授業科目のシラバスを全件、全項目について適切に入力しているか。	6-4-3	教養学部	教養学部長	×	×	●「学科の学習・教育目標」及び「卒業研究」の空欄、「授業展開」の簡易な記載、「履修条件」の記入内容の個人差について改善を要する。	○	○シラバスの入力や記載内容の適切性を確保するため、「令和5年度シラバス作成について（依頼）」を授業担当教員へ送付した。 (R5. 2. 27)
			経済学部	経済学部長	○	△	●教養学部・人文社会科学研究科、教育機構の一部に空欄が認められたため、再確認を要する。	○	〃
			教育学部	教育学部長	○	△	〃	○	〃
			理学部	理学部長	○	△	〃	○	○シラバスの入力や記載内容の適切性を確保するため、「令和5年度シラバス作成について（依頼）」を授業担当教員へ送付した。 (R5. 2. 27) ○令和5年3月に教員相互による入力状況の確認を行った。
			工学部	工学部長	○	△	〃	○	○シラバスの入力や記載内容の適切性を確保するため、「令和5年度シラバス作成について（依頼）」を授業担当教員へ送付した。 (R5. 2. 27)
			人文社会科学研究科	人文社会科学研究科長	×	×	●「学科の学習・教育目標」及び「卒業研究」の空欄、「授業展開」の簡易な記載、「履修条件」の記入内容の個人差について改善を要する。（学際系）	○	〃
			教育学研究科	教育学研究科長	○	△	●教養学部・人文社会科学研究科、教育機構の一部に空欄が認められたため、再確認を要する。	○	〃

3-2 成績分布状況	成績評価基準に則り各授業科目の成績評価及び単位認定を厳格かつ客観的に行っているか。	6-6-3	理工学研究科	理工学研究科長	○	△	〃	○	〃
			教育機構	理事 (教学・学生担当)	×	×	●一部に空欄が認められたため、シラバスの全件、全項目の入力を確認する制度の構築など改善を要する。	○	〃
			教養学部	教養学部長	○	△	●成績評価分布等のデータを関係委員会等で確認するなど組織的に確認していることに関する資料が確認できなかった。	○	○令和4年度教育の内部質保証自己点検・評価で組織的に確認していることを確認した。
			経済学部	経済学部長	○	△	〃	○	〃
			教育学部	教育学部長	○	△	〃	○	〃
			理学部	理学部長	○	△	〃	○	〃
			工学部	工学部長	○	△	〃	○	〃
			人文社会科学 研究科	人文社会科学 研究科長	○	△	〃	○	○令和5年度教育の内部質保証自己点検・評価で組織的に確認していることを確認した。
			教育学研究科	教育学研究科長	○	△	〃	○	〃
			理工学研究科	理工学研究科長	○	△	〃	○	○令和4年度教育の内部質保証自己点検・評価で組織的に確認していることを確認した。
			教養学部	教養学部長	○	△	●個人指導が中心となる科目(卒業研究など)について、成績の客観性を担保する措置が講じられていることに関する資料が確認できなかった。	○	○令和4年度教育の内部質保証自己点検・評価で確認した。
			経済学部	経済学部長	○	△	〃	○	○令和5年度教育の内部質保証自己点検・評価で確認した。
			教育学部	教育学部長	○	△	〃	○	〃
			理学部	理学部長	○	△	〃	○	○令和4年度教育の内部質保証自己点検・評価で確認した。
			工学部	工学部長	○	△	〃	○	○令和5年度教育の内部質保証自己点検・評価で確認した。
人文社会科学 研究科	人文社会科学 研究科長	○	△	〃	○	○令和4年度教育の内部質保証自己点検・評価で確認した。			

			教育学研究科	教育学研究科長	○	△	〃	○	○令和5年度教育の内部質保証自己点検・評価で確認した。
			理工学研究科	理工学研究科長	○	△	〃	○	〃
			教育機構	理事 (教学・学生担当)	×	×	●成績評価分布等のデータを教育機構で組織的に確認するよう改善が必要である。	○	○国立大学法人埼玉大学における教育の内部質保証に関する規則別表2を改正した。 (R5.10.27)
3-3 授業評価結果	授業への理解度及び難易度を適正な水準に保っているか。	2-3-3	教養学部	教養学部長	○	△	●授業評価では、授業への理解度と難易度を測定していないため、評価基準を満足度に変更するなど改善を要する。	○	〃
			経済学部	経済学部長	○	△	〃	○	〃
			教育学部	教育学部長	○	△	〃	○	〃
			理学部	理学部長	○	△	〃	○	〃
			工学部	工学部長	○	△	〃	○	〃
			人文社会科学 研究科	人文社会科学 研究科長	○	△	〃	○	〃
			教育学研究科	教育学研究科長	○	△	〃	○	〃
			理工学研究科	理工学研究科長	○	△	〃	○	〃
			教育機構	理事 (教学・学生担当)	×	×	〃	○	〃
3-4 卒業時・修了時アンケート結果	教育課程への満足度が適切な水準を保っているか。	6-8-3	教養学部	教養学部長	○	○			
			経済学部	経済学部長	○	○			
			教育学部	教育学部長	○	○			
			理学部	理学部長	○	○			
			工学部	工学部長	○	○			
			人文社会科学 研究科	人文社会科学 研究科長	○	○			
			教育学研究科	教育学研究科長	○	○			
			理工学研究科	理工学研究科長	○	○			
			教育機構	理事 (教学・学生担当)	○	○			

3-5 就職及び進学状況	就職及び進学の状況が適切な水準を保っているか。	6-8-2	教養学部	教養学部長	○	△	●卒業（修了）生の社会での活躍等が確認できる資料が確認できなかった。	○	○令和4年度教育の内部質保証自己点検・評価で確認した。
			経済学部	経済学部長	○	△	〃	○	○企業アンケートの際に社内報等の提供依頼を開始する。
			教育学部	教育学部長	○	△	〃	○	〃
			理学部	理学部長	○	△	〃	○	〃
			工学部	工学部長	○	△	〃	○	〃
			人文社会科学 研究科	人文社会科学 研究科長	○	△	〃	○	〃
			教育学研究科	教育学研究科長	○	△	〃	○	〃
			理工学研究科	理工学研究科長	○	△	〃	○	〃
			教育機構	理事 (教学・学生担当)	×	×	●教育機構に所属する学生はいないことから、評価実施主体及び内部質保証責任者から外すことが望ましい。	○	○国立大学法人埼玉大学における教育の内部質保証に関する規則別表2を改正した。 (R5.10.27)
【優れた成果】									

施設設備整備、情報設備整備及び図書館設備整備に関する自己点検・評価

評価事項	評価基準	分析項目	評価実施主体	内部質保証責任者	自己評価	点検結果	改善事項の概要	改善結果	改善結果の概要
4-1 施設・設備の整備 状況	施設・設備を計画的に整備しているか。	4-1-3	施設・環境 マネジメント委員会	理事 (総務・財務担当)	○	○			
4-1 施設・設備の整備 状況	施設・設備について安全性を十分に配慮しているか。	4-1-3	施設・環境 マネジメント委員会	理事 (総務・財務担当)	○	○			
4-2 情報設備の整備状況	文部科学省が実施する「学術情報基盤実態調査」の観点に基づき、情報設備を適切に整備しているか。	4-1-4	情報メディア基盤 センター	情報メディア基盤 センター長	○	○			
4-3 図書館設備の整備 状況	文部科学省が実施する「学術情報基盤実態調査」の観点に基づき、図書館設備を適切に整備しているか。	4-1-5	図書館	図書館長	○	○			
【優れた成果】									

2. 設置計画履行状況等調査において付される指摘事項

令和3年度設置計画履行状況等調査結果（文部科学省ウェブサイト：https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/ninka/1413782_00003.htm）

種類		定義				
指摘事項（改善）		設置計画履行状況等調査の結果、充実や改善が望まれる事項があり、認可を受けた者又は届出を行った者に対してこれを通知する事項				
学部等名	学科等名	指摘事項	履行状況	今後の実施計画	改善結果	改善結果の概要
工学部	機械工学・システムデザイン学科	<p>【指摘事項（改善）】</p> <p>●専任教員数が設置計画から減少しているため、提示された教員の採用計画を確実に履行するよう努めること。</p> <p>設置時の計画に対する教員充足率（令和4年5月1日現在）</p> <p>機械工学・システムデザイン学科：27/29= 93.1%</p>	<p>令和3年度は、令和4年4月1日付け採用の教授2名、准教授1名、助教1名の公募を行った。教授2名(2件)の公募にあつては、それぞれ本学の機械工学・システムデザイン学科の専任教員（准教授）が、准教授1名の公募にあつては、同学科の専任教員（助教）が選考され、いずれも令和4年4月1日付け昇任した。また助教1名については令和4年4月1日付けで採用することで対応した。この昇任に伴い空席となる2つのポストの利用計画については、専任教員の充足率の改善に向け検討し、学内手続、公募、審査、審議、上申の各期間の確保から令和5年4月1日付け採用を目途とした。なお、教育研究については、他の専任教員が分担して担当しており、支障はない。</p>	<p>昇任して欠員となっている准教授1名及び助教1名を、さらに学内の教員ポスト再配分による准教授（若しくは助教）及び助教（各1）を幅広く公募し、令和4年10月1日乃至令和5年4月1日付け採用人事を進める。</p>		

3. 監事及び会計監査人からの意見

該当なし

4. 学外有識者による意見

該当なし

5. 自己点検・評価をもとに受審した第三者評価の評価結果

該当なし